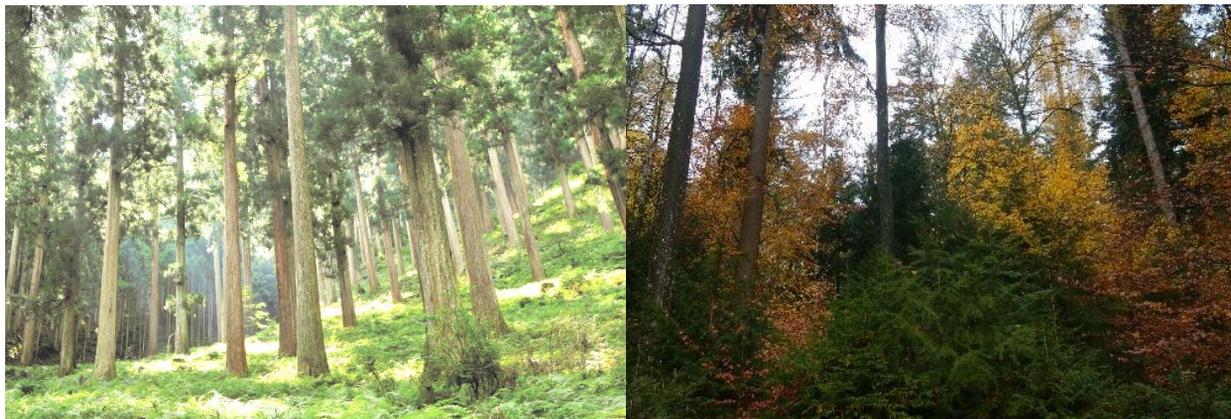


奈良県森林環境税◆第4期(2021~2025)◆



奈良県の森林を守るために

豊かな森林資源を受け継いでいくため、
奈良県では森林環境税が導入されています。

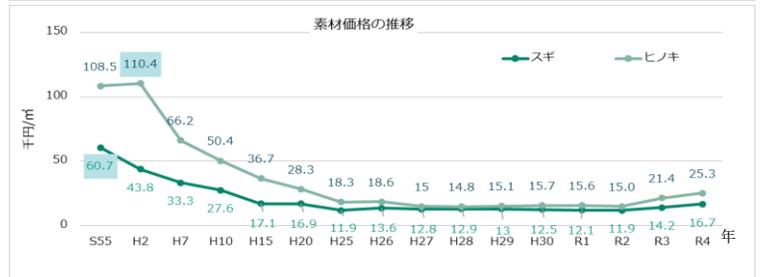
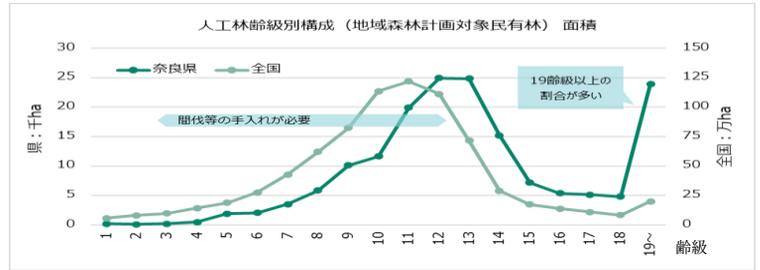


奈良県
NARA PREFECTURE

奈良県の森林・林業の現状と課題

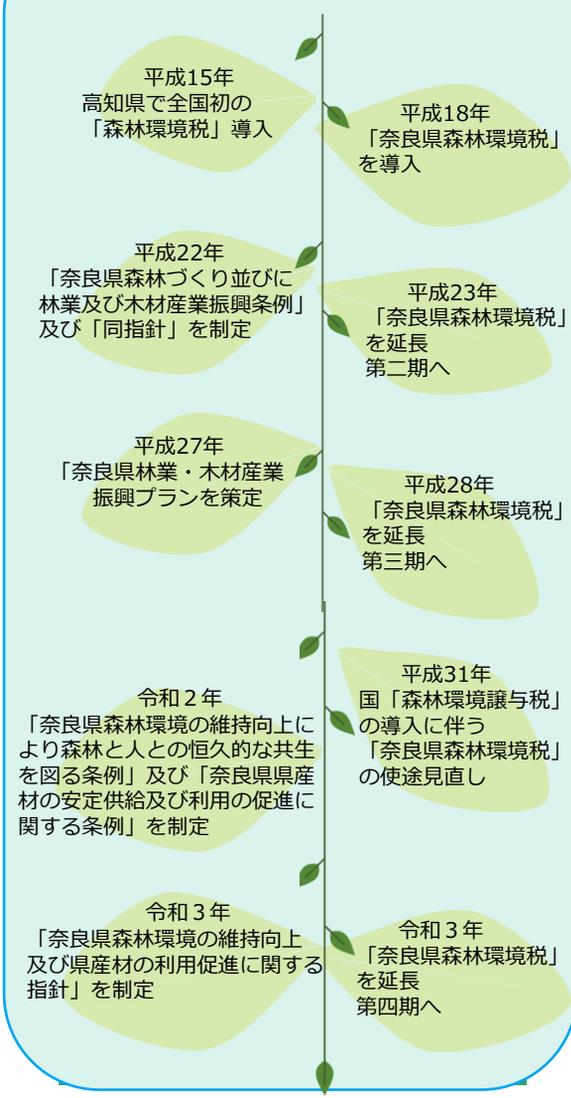
奈良県の森林面積は284千haで、県土の約77%が森林です。また、森林面積の約6割が人工林で、間伐等の保育を要する森林がその7割を占めています。

また、山村地域の過疎化や林業の低迷等により、林業就業者数が減少し、必要な手入れがなされない施業放棄林が増加し、森林環境を維持することが困難となっています。



県土面積 369千ha
 森林面積 283千ha
 森林蓄積(民) 79,473千m³
 平均蓄積(民) 296m³/ha
 人口 1,306千人
 (令和6年4月現在)

森林環境税と奈良県のあゆみ



吉野川上流地域（川上村、東吉野村、黒滝村）は「吉野林業地域」と呼ばれ、集約的施業によるわが国有数の優良材生産地です。



吉野林業



吉野林業の特徴

- ・日本最古の造林（1500年頃）
- ・大阪城、伏見桃山城の普請材
- ・密植多間伐・長伐期の育林技術
- ・生産材は年輪幅が狭く均一で幹は通直・完満・真円

奈良県が目指すべき森林の姿・森林の4機能

奈良県では、森林の多面的な機能を「森林資源生産機能」「防災機能」「生物多様性保全機能」「レクリエーション機能」の4つに区分（森林の4機能）します。

森林の4機能

森林資源生産機能

- ・木材やきのこ、きれいな水を供給
- ・二酸化炭素を吸収し炭素を貯蔵



防災機能

- ・木の根が土砂や岩石などを固定して、土砂の崩壊を防止
- ・降雨を地下に蓄え、少しずつ流すことにより洪水を緩和



生物多様性保全機能

- ・多様な動植物の生育・生息の場の提供



レクリエーション機能

- ・景観の保全や教育・芸術の場の提供
- ・健康の維持・増進やレクリエーション活動の場の提供



目指すべき森林

また、森林の4機能の高度発揮を目的として県内の森林を「恒続林」「適正人工林」「自然林」「天然林」の4つに区分し（目指すべき森林）、いずれかに誘導します。

①恒続林（道路・集落近傍）

環境保全を主目的に、木材生産にも資するよう、地域特性に応じた種類の樹木が異なる樹齢・高さの状態となる森林

森林資源生産 ★★★
防災 ★★★
生物多様性 ★★★
レクリエーション ★★★



②適正人工林（恒続林より奥山）

適正に管理されているスギ、ヒノキ等の人工林

森林資源生産 ★★★
防災 ★★★☆
生物多様性 ★★☆☆
レクリエーション ★★★☆



③自然林（適正人工林より奥山）

スギ、ヒノキ等の人工林と地域特性に応じた種類の樹木が混交する、自然の遷移により環境が保全される森林

④天然林

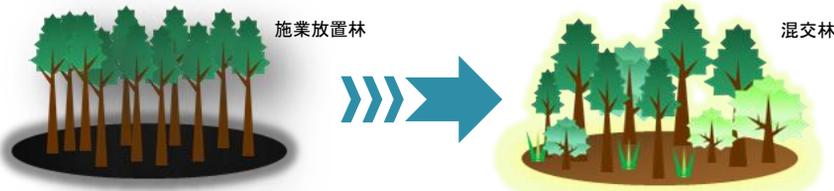
地域特性に応じた種類の樹木が維持される森林

森林資源生産 ★☆☆
防災 ★★★
生物多様性 ★★★
レクリエーション ★★★



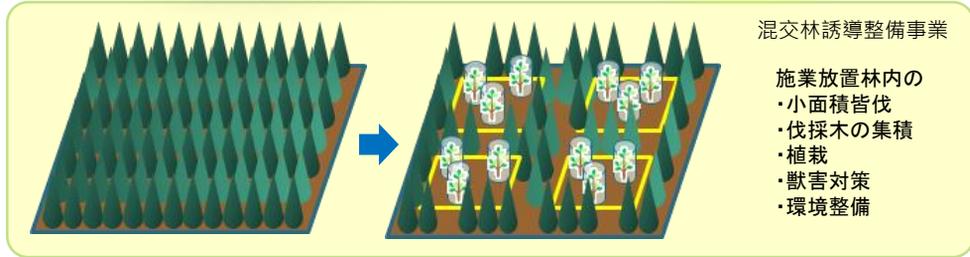
施業放置林の解消（混交林誘導整備）

県民が生活していく上で安全・安心の確保に努めるべき区域を「森林防災力強化区域」とし、施業放置された人工林を混交林へ誘導します。



市町村が国森林環境譲与税で森林整備を実施。

県と市町村が両輪で施業放置林の解消に努めます。



令和3年度～令和5年度の成果

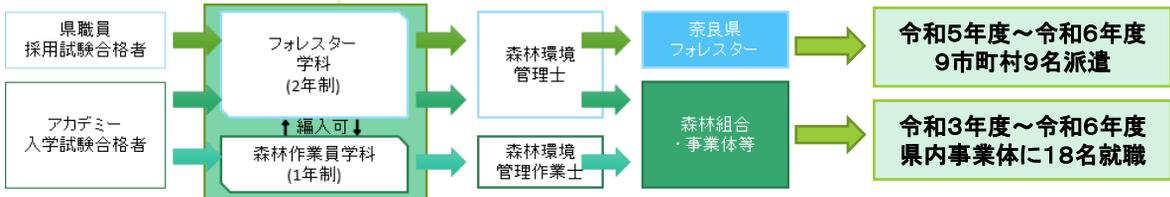
148ha

人材養成（奈良県フォレスターアカデミー運営）

森林環境の維持向上に関する専門的な知識を有し、かつそれを実践できる技術、技能を備えた人材を養成するため、吉野町飯貝に奈良県フォレスターアカデミーを設置し、令和3年4月に開校しました。



奈良県フォレスター（県職員）



また、奈良県フォレスターアカデミーを卒業した県職員を「奈良県フォレスター」として任命し、市町村に配置します。奈良県フォレスターは、担当市町村に常駐し、長期間同一区域を担当することで、その地域における森林環境管理に関する総合的なマネジメントを行います。



森林環境教育の推進

私たちの生活と森林との関係など、森林と環境について積極的に学べる機会を提供します。



▲「森の学校」間伐体験



▲小学校5年生配布の副読本

令和3年度～令和5年度の成果

基本的な指導者養成
コース受講
416人
「森の学校」参加
延31,879人

森林生態系の保全

森林をすみ処とする動植物の生態を見守りつつ、シカの防除や病害虫などによる森林被害を調査します。

令和3年度～令和5年度の成果

メスジカ捕獲頭数
16,256頭

奈良県森林環境税を活用したこれまでの取組

第4期は、新たな森林環境管理制度を推進するための混交林誘導整備・奈良県フォレスターアカデミーの運営に新たに取り組む他、第3期までの森林環境教育や森林生態系保全事業については、市町村域を超えた広域的事業を継続します。



平成18年度～令和元年度の成果

約11,100ha

施業放置林の強度間伐を実施



施業放置林の整備
森林環境教育の推進

延185ha

里山整備を支援
298ヶ所



里山づくりの推進
森林生態系の保全

基本的な指導者養成コース受講

358人



「森の学校」参加 延30,022人



ナラ枯れ被害木の伐倒支援

延2,426m



メスジカ捕獲頭数

22,347頭

シカの食害により下層植生が消失した天然林



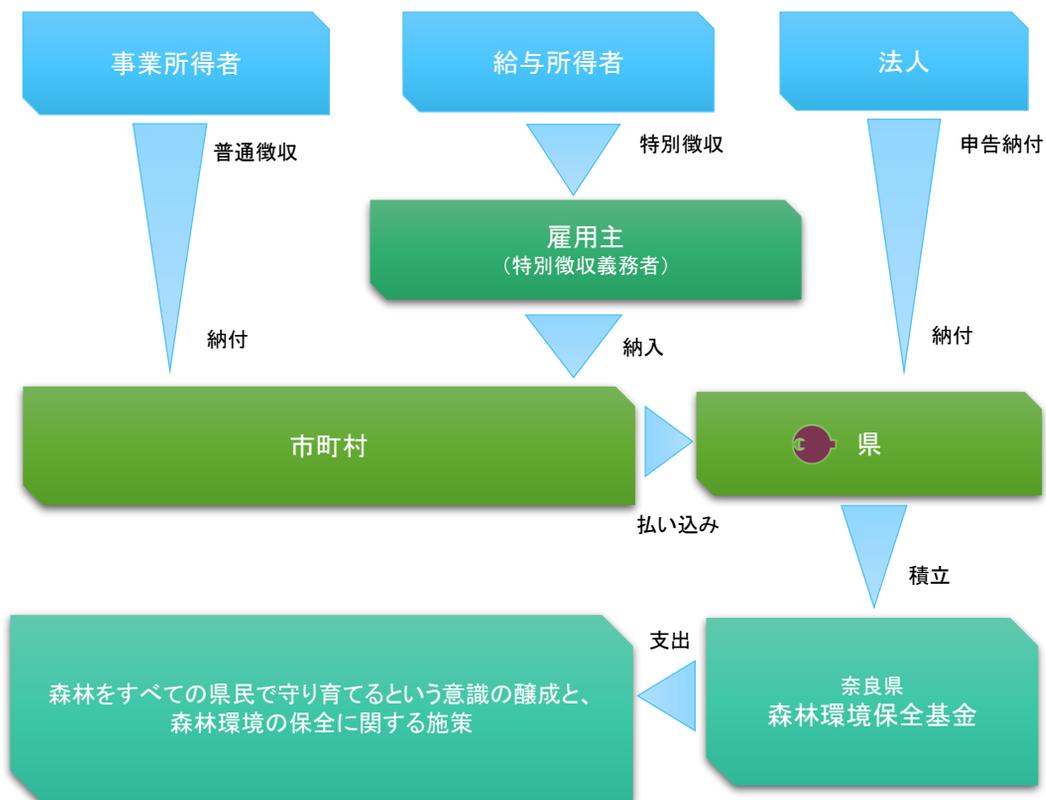
奈良県森林環境税の仕組み

奈良県森林環境税は、私たちの暮らしに様々な恵みを与えてくれる森林について、県民みんなで守り育てるという意識を醸成するとともに、森林環境を保全することを目的とする本県独自の税制度です。

県民税均等割額に、個人は年額500円、法人は均等割額の5%を上乗せして、ご負担いただいています。税収額は年間約3億8千万円で「奈良県森林環境保全基金」に積み立てた後、各施策に活用しています。

※ 税の活用状況は県ホームページ上での公開や、県庁屋上ギャラリーなどの企画展示を通じて広報しています。

【徴収方法】	県民税均等割額に上乗せする方法
【税率】	個人：年額500円
	法人：均等割額の5%に相当する額



◆問い合わせ先◆

【税の使い道について】

奈良県環境森林部森林環境課
〒630-8501：奈良市登大路町30
TEL：0742-27-8115

【税の仕組みについて】

奈良県総務部税務課
〒630-8501：奈良市登大路町30
TEL：0742-27-8363

【取組について詳しくはこちら】



奈良県森林環境税へのご理解とご協力を
よろしくお願ひいたします



令和6年11月発行